



大山御貫首と記念撮影する内局の皆様



当山書院にて新年のご挨拶を交わされる



初詣に来山された城崎先生とご主人

総本山智積院 内局御一行年賀に来山

去る一月十八日、真言宗智山派・総本山智積院より、芙蓉良英宗務総長をはじめとし、馬場修任総務部長、高麗行真教学部長、笹沼弘憲教化部長、三神栄法務部長、久保田剛士財務部長、近藤昌俊宗務出張所長が来山されました。御一行は、当山に到着後大本堂でご法楽をあげられ、山内僧侶・職員の出迎えを受け、大山御貫首と当山書院・松の間に新年のご挨拶を交わされ、しばし歓談の後下山されました。

うです。また、必ず天狗の団扇を求められて、一年間の開運・厄除けを願ってご自宅にお祀りされているとのこと。また来年もお参りに来ますとの言葉を残し、下山の途に就かれました。現在高尾山報に連載中の、「万葉集」から見る日本の古典の筆者である城崎陽子先生が、ご主人様と初詣に来られて御護摩修行に参加され、今年も無事に過ぎますようにと御本尊様へお祈りされました。城崎先生は富士講にて活躍されている富士行者でもあり、来たる三月に高尾山麓で行われる「高尾山火渡り祭」に富士講の一員として、参加されています。

平成二十九年 初詣 飯縄様への熱き祈り



御奉納舞をする山中辻晶さん



今年から朱色の天狗団扇もあります

平成二十九年丁酉の新春、天候に恵まれ、気温が高く、過しやすい気候となった高尾山には、全国から大勢の御信徒の皆様が訪れ、賑わいを見せておりました。新年を迎えた大本堂では、世界平和、国土安穩、東日本大震災早期復興、家内安全、身体健全、身上安全、心願成就、その他諸願成就を祈り、新春特別開帳大護摩供祈禱が厳修されました。東京都三鷹市からお越しの山中辻晶様は、二十年近く、お正月に飯縄権現堂(御本社)にて能の奉納舞をされています。山中さんは、観世流梅若会のシテ方として、活躍されております。最近では二人のお嬢様も一緒に奉納舞をされるようになっており、本年も成長されたお嬢様と共に舞を披露されました。飯縄権現堂での奉納舞が始まると、初詣で賑わう参拝者の方々が足を止めて一瞬静まり返りました。すると参拝の皆様が山中さんの勇壮な舞や、お嬢様方の可憐な舞や謡いに見入って、歓声が上げられました。奉納舞では、長寿を願う「老松」や結婚披露宴などの席で良く演じられる「高砂」等のお目出度い曲目が演じられました。



来年もまた来ますと、木村豊藤さん

埼玉県深谷市からは、木村豊藤様(トヨトモ)がご家族と一緒に来山されました。高尾山へは五十年以上もお詣りに来られております。お仕事を引退されるまでは観光会社に勤めておられ、毎年高尾山にツアーの添乗員としても来られていたそうです。その時のお話を伺いますと、春の遠足で学生を連れてきたことを良く覚えていると話されました。当時も春は大勢の人が参拝にいられていて、新緑が綺麗だったと語られておりました。今ではご家族と一緒に正月に高尾山にお参りに来られるようになり、御本尊様へ家内安全をお祈りされているそ